

一般質問事項一覧

6月9日（月）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／9日（月）	猪嶋（大野市民の会）	一問一答方式	1 平成の湯について ○ 現在、平成の湯の営業時間が短縮されている。初めは午後9時までの営業が午後8時までとなり、その後、今に至るまで平日営業をやめ、土・日・祝日のみの営業となっている。 平成の湯について規定されている「大野市九頭竜保養の里設置条例」では、利用時間は午前10時から午後9時まで、休館日は毎週火曜日及び1月1日となっている。 なぜこのような状況になったのか、その理由を伺う。
			2 一般県道白山中居神社朝日線の改良について ○ 国道158号の上半原地係において、3月19日に発生した大規模な土砂崩れは、復旧の見通しが立たない状況で、現在、岐阜県との往来は寸断された状況であり、県は、仮設道路を今夏までに完成させるとのことである。 また、中部縦貫自動車道は当初令和8年春に開通の見通しとされていたが、新子馬巣谷橋の工事課題の発生により、令和11年春へと開通時期が見直しされたとのことである。 これらの道路は、福井県の東の玄関口と位置付けられる重要な路線であり、国道158号が使えない状況は、大野市のみならず、福井県にとっても深刻なものであり、一刻も早い仮設道路の完成と両路線の早期開通が望まれるところである。 そこで、今回の状況を鑑み、大野市から岐阜県へ抜けるルートとして県境手前で改良が止まっている一般県道白山中居神社朝日線の道路改良再開を提案したい。 この道路は大野市小谷堂と郡上市白鳥町石徹白をつなぐ道路であるが、県境を含め約4^{キロメートル}の区間が未改良の1車線道路となっている。それゆえ、冬期は通行止めとなっている路線である。 国道158号や開通予定の中部縦貫自動車道の代替路線として、未改良部分の解消を図ることで、岐阜県とつなぐ第3のパイプ路線としての活用が期待できるので、県に強く要望されたいと考えるが、市の考えを伺う。
			3 七間通りの無電柱化について ○ 七間通りの下水道整備が進むと聞いている。 この際、以前より問題となっている老朽化した石畳も改修されると思うが、併せて無電柱化を行うと、通行性の改善、地震による電柱倒壊による危険性の排除、景観性の向上が図られ、また2次的効果として、時折、問題となる鳥のふん害も解消されると思うが、実施の可能性があるのか伺う。

令和7年6月 第444回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／9日（月）	林（市政会）	一括質問・答弁方式	1 若者や女性に選ばれる大野市づくりに向けて 「結のまちを持続的に支える自治体経営」を掲げて全庁体制で人口減少対策に取り組んでいるが、特に若者と女性が住みたいと選んでもらえる大野市を創り上げていかなければ持続可能とは言えない。 行政は、基金（貯金）を増やして不測の事態に備えるだけではなく、企業活動を活発にして市税収入を増やすための投資や行政財産を最大限活用するなど、自主財源を確保して市民福祉の向上を図る必要があることから、次の3点について質問する。 ○ 国の委員を務める市長が描く本市の地方創生2.0の姿と「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の活用状況は。 ○ 市が保有する普通財産の現況と、旧宝慶寺いこいの森、九頭竜保養の里旧コテージ、旧和泉グラウンドの活用方針は。 ○ 耐用年数を経過する令和8年5月末での閉館方針を示した文化会館は、地域づくりの基本目標「みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち」に必要なものではなかったのか。また、老朽化が進む公民館や市立集会所の位置付けは。
			2 大野ならではの教育環境の充実に向けて 令和5年が110人、令和6年は116人と本市の出生数が急減したことで認定こども園や公立保育所の運営に影響が出ていると聞く。今後影響が心配される小・中学校では、本市の特長である自校方式の給食提供の過程において異物混入が相次いで発生した。安全安心な給食を脅かすものであり早急な環境改善を求める。 中学校の休日における部活動の地域移行は平日も含めた地域展開を進める方針が国から示されたが、実現による成果は何なのか。部活動を通じて生徒と接点を持っていた教員にとっての働きがいや文化・スポーツ活動に打ち込む生徒への影響が憂慮される。強引に進めることなく市教委と市が連携して丁寧な対応を求める。 教育に熱心な人々や地域の協力が得られ、豊かな自然を生かした本市ならではの教育環境を充実させることは、大野ですくすく子育て応援パッケージの中心を成すものと考えことから、次の2点について質問する。 ○ 「未来を拓（ひら）く大野っ子が健やかに育つまち」を掲げて取り組む18年をつなぐ教育の進捗（しんちょく）は。 ○ 遊びを取り入れた運動プログラム・ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）の認定こども園や公立保育所、小学校における実施状況は。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／9日（月）	野村（無党派）	一括質問・答弁方式	1 全市民・中小企業への支援策について 私が現在取り組んでいる、くらしや市の課題に対する市民アンケートにおいて、市民からは切実な声が寄せられている。物価高がくらしを直撃しているとのことである。 まず把握しておかなければならないのは、市民の所得ではないかと考える。また中小企業を支援して、働く人の賃金を上げることも大切であり、そのためには、市内事業所が抱えている課題について把握する必要があると考える。 これらについて、次のとおり質問する。 ○ 大野市民の平均所得は幾らなのか。 ○ その額は、全国及び福井県で何番目になるのか。 ○ 全市民への物価高対策について国や県に求めるとともに、市としてどのような施策が必要と考えるのか。 ○ 事業所が諸物価高で受けた影響や課題、また事業所が今後において懸念していることをどのように把握しているのか。 ○ 事業所への支援は国や県に対し求めることも必要であると考えているが、市としてできる支援策は何か。
			2 医療・介護施設への支援策について 1項目目と同じアンケートの回答で最も多かったものは、「医療・介護・年金に不安を感じている」であった。 所得が少なく、将来が不安であると考えられるが、まず、医療機関や介護施設が健全でなければならない。 今、病院の6割が赤字に陥り、診療科や入院患者の受け入れを減らす、救急医療が廃止されるなどの事態が全国に広がっている。 介護では既にその基盤崩壊ともいえる深刻な事態が進んでいる。 昨年度、政府が訪問介護の基本報酬を2～3割削減したことで、全国でヘルパーなどの不足と事業所の閉鎖が進み、事業所が「ゼロ」あるいは「1カ所のみ」という自治体が増え続けている。 国に対し医療や介護に国費を投入する財政支援を求める必要があると考えるが、市としてできる対策は何であるのか伺う。

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問（第1日）／9日（月）	野村（無党派）	一括質問・答弁方式	3 年金生活者や所得の少ない市民への支援策について 前述のアンケートにおいて、医療・介護・年金に不安を感じている理由には経済問題があると考えられる。 政府が「100年安心」と言って導入した、年金額を物価上昇より下回らせる「マクロ経済スライド」制度がなければ、現在、月10万円の年金を受給している人は、月9,400円多い年金を受給できるはずであった。 この制度の弊害は、今後も年を追うごとにひどくなり、現役世代の受け取る年金がどんどん減っていくことになる。 国は「マクロ経済スライド」などをなくし、年金を物価の値上がりや賃金上昇に追い付かせて引き上げ、現役世代にも”減らない年金”を保障するべきであると考えるが、市として年金以外に収入のない市民や所得の少ない住民税非課税世帯等に対する施策をどのように考えるのか伺う。
			4 農業への支援について コメ価格の高騰が話題となっているが、農業者の減少が加速し農業と農村は疲弊している。 これを根本転換し、農業の再生、食料の安定供給に本格的に踏み出すことは今年の重要課題であると考ええる。 必要なのは自給率向上を最大の目標に据え、価格保障や所得補償など農家が安心して営農に励める基盤を整えることである。 政府が安定供給に責任を持ち、ゆとりある需給見通しを立て生産と備蓄を拡大することや、低所得者への食料支援を抜本的に強めることなどが必要である。 酪農・畜産危機も引き続き深刻であり、酪農家はこの15年で半減し1万戸を割った。 残る酪農家も6割が赤字で、5割近くが離農を検討しているといい、酪農の灯が消え、新鮮な国産牛乳が飲めなくなりがねない。 飼料代高騰への支援や乳価の引き上げなど酪農経営を維持する緊急支援は喫緊の課題である。 全ての農業に携わる方への支援を国に求める必要があると考えるが、市としてできる支援策は何であるのか伺う。
			5 二次交通の充実について 前述のアンケートでは公共交通への不安に対する声が寄せられている。 物流の2024年問題もあり、バス、タクシーも本当に深刻である。 バスの減便、またタクシーも午後5時ごろになると営業を終了し、市民の移動に支障を来していることから、バス・タクシーなどに必要な対策を国や県に求めることが必要であると考えるが、市としてできる対策は何であると考えなのか伺う。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／9日（月）	岸本（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	1 文化会館の閉館方針と今後の跡地活用について ○ 大野市文化会館あり方検討報告書に記載されている耐震化や長寿命化の可能性について、有識者3名による回答結果だけの判断で、なぜ耐震化や長寿命化調査を実施しなかったのか伺う。 ○ 市民の文化活動ができる場所づくりと地元住民のコミュニティーの場づくりを今後どのように取り組んでいくのか伺う。 ○ 閉館後の文化会館跡地活用について伺う。
			2 国道158号通行止めによる市内事業者支援について 本年3月に上半原地係で発生した大規模な斜面崩壊により、現在岐阜県へ通り抜けができない状況である。本市観光誘客に最も期待されている中京圏からの観光入り込み客数は当然減少していると思われ、そのような状況下にある本市事業者への影響と支援策について伺う。 ○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」、道の駅「九頭竜」の対前年比売り上げ状況は。 ○ 観光客の減少による地域経済への影響を抑えるための各種メディアやウェブ活用の効果は。 ○ 国道158号の仮設道路開通のタイミングに合わせ、本市独自の支援策について検討しているのか。
			3 熱中症対策について ○ クーリングシェルター18カ所設置により、市民、特に高齢者に対しての熱中症対策は十分であるのか伺う。 ○ 屋外スポーツ施設、特に奥越ふれあい公園多目的広場、真名川憩いの島で市が取り組む熱中症対策について伺う。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／9日（月）	伊 東（市政会）	一括質問・答弁方式	1 病児保育について 子どもの病気は働く親にとって最大の難関である。どうしても仕事を休めない。そんなときに病気の子どもを預かり、保護者に代わって保育士や看護師が保育や看護を行うサービスを病児保育というが、特に共働き家庭やひとり親家庭にとって、仕事を続けるために重要な子育て支援の一つである。しかし、本年4月より本市での病児保育はなくなり、市外の医療機関での実施となった。 令和6年2月に実施された「大野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」によると、就学前児童を持つ保護者からは病児保育の拡充を望む声が多く見られる。そこで3点にわたって質問する。 ○ 他市での病児保育を利用するしかない中、本市の保護者にとって何か不都合はないのか。また受け入れなどに違いはないのか。 ○ 令和7年度版大野ですくすく子育て応援パッケージの中に「病児デイケア事業」が掲載され、市ホームページでは外部サイトへの接続で利用可能施設等が検索できるようになっている。保護者にとって必要な情報が、簡単に分かりやすく入手できるよう、市ホームページにおいて病児保育実施施設等の名称などについても掲載してはどうかと考えるが、市の見解は。 ○ 本市での病児保育実施に向け、現在の状況と今後の方針は。
			2 授乳室での搾乳表示について 搾乳とは自分で母乳を絞ることをいい、授乳が難しい状況や、母乳の保存、また乳腺炎の予防などさまざまな理由で行われる。特に、低体重児の母親は、子どもの入院時に母乳を届けるため数時間ごとの搾乳が必要だという。 公共施設や商業施設などで授乳室の設置が進んでいる一方、搾乳のために母親だけで利用することをためらう傾向があり、授乳室で搾乳もできることについて周知されていないのが現状である。福井県では、気軽に授乳室で搾乳ができるよう、本年4月より県の公共施設などの授乳室に搾乳マークが設置されており、本市においても導入すべきと考える。 そこで3点にわたって質問する。 ○ 本市の公共施設において、授乳室は何か所あるか。 ○ 公共施設などの授乳室に搾乳ができることを周知する表示を付けることについて、市の見解は。 ○ 市内で県作成の搾乳マークを取り入れているところは何か所あるか。

令和7年6月 第444回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／9日(月)	伊東(市政会)	一括質問・答弁方式	3 子どもの熱中症対策について
			近年急激に進行した温暖化に伴い、本年6月1日より企業に対して職場における熱中症対策の強化が義務付けられた。 厚生労働省が推奨する熱中症対策の1つに「天気の良い日は日陰の利用、こまめな休憩」とあるが、市内の屋外施設は日陰となる場所が極端に少なく、屋外での活動時に日陰を確保することが困難な状況となっている。 特に屋外での活動が多い子どもたちにとって熱中症対策は喫緊の課題であり、年々暑さが増す中、早急に対応すべきと考える。公共施設の環境整備においては、屋内施設だけでなく、屋外施設の熱中症対策にも目を向けるべきではないだろうか。 そこで2点にわたって質問する。 ○ 議案第89号に計上されたB＆G海洋センターにおけるスポットクーラー6台の設置場所と、設置場所における利用人数の状況は。 ○ スポーツ少年団や中学生が所属する地域クラブが活動する公共施設（学校グラウンドや真名川憩いの島）における熱中症対策の現状は。日陰をつくるなどの環境整備を早急に実施すべきと考えるが、市の見解は。

日	質問者	質問方式	質 問 概 要												
一般質問（第1日）／9日（月）	梅林（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	1 汚水処理の適正化について ○ 報告第7号予算の繰越の報告について、建設改良費、事業名：農業集落排水計測器設置事業、5,845万8,000円を繰り越すというものだが、事業の内容と繰り越す理由を伺う。 ○ 農業集落排水の下水道統合により、供用開始区域内人口、使用開始人口は現時点より何人増え、市全体として何人になるのか。その上で水洗化率は何パーセントになるのか。 ○ 下水道への統合による最適化事業費として、現状維持と最適化にした場合との比較は次のとおり。 <table><tr><td>公共下水道接続、農集統合、規模縮小、処理場、調査等、計測器設置</td><td>現状維持改修費 （税込み・千円）</td><td>最適化概算事業費 （税込み・千円）</td><td>比較増減 （税込み・千円）</td></tr><tr><td>合計</td><td>2,627,000</td><td>2,162,000</td><td>-465,000</td></tr></table><table><tr><td>年間維持管理費見込額</td><td>128,000</td><td>76,000</td><td>-52,000</td></tr></table> ※「大野市汚水処理の最適化に向けて」（R5.10.23 理事者提供資料）抜粋 最適化概算事業費の財源内訳として、国補助、県補助、起債、一般財源等のそれぞれの金額は。また整備完了は令和19年とのことだが、完了後の下水道接続、農集統合、規模縮小等に係るそれぞれの維持管理費を伺う。 ○ 農業集落排水の下水道への統合により、本市の水循環にどのような影響を及ぼすのか伺う。 ○ 本計画を進めるに当たっての問題点や課題は何か伺う。	公共下水道接続、農集統合、規模縮小、処理場、調査等、計測器設置	現状維持改修費 （税込み・千円）	最適化概算事業費 （税込み・千円）	比較増減 （税込み・千円）	合計	2,627,000	2,162,000	-465,000	年間維持管理費見込額	128,000	76,000	-52,000
			公共下水道接続、農集統合、規模縮小、処理場、調査等、計測器設置	現状維持改修費 （税込み・千円）	最適化概算事業費 （税込み・千円）	比較増減 （税込み・千円）									
合計	2,627,000	2,162,000	-465,000												
年間維持管理費見込額	128,000	76,000	-52,000												
2 本市における健全な水循環について ○ 大野市水循環基本計画見直しの進捗（しんちよく）状況と、見直しの重要課題は何か伺う。 ○ 大野市地下水保全条例の改正について、どのように考えているか伺う。 ○ 市内において、揚水ポンプの老朽による取り換えや井戸の掘り直し等が見受けられる。深く井戸を掘る事業所や家庭も見受けられるが、市民の生活用水を管理する市として、これらの把握はしているのか。															

一般質問事項一覧

6 月 1 0 日（火）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 （第 2 日） ／ 1 0 日（火）	廣 田（清風会）	一問一答方式	1 大野市鳥獣被害防止計画について 本年度が大野市鳥獣被害防止計画の最終年度であるが、以下の項目について伺う。 ○ 鳥獣害の現状及び生息状況は。 ○ 大野市鳥獣被害防止計画の更新において新たな対策を考えているのか。 ○ 鳥獣害の広域的な対策が必要であると思うが、市としての考えは。
			2 観光施設の管理運営方針について 観光施設の管理方針について示されたが、以下の項目について伺う。 ○ 結ステーションエリア施設の管理方針において、令和 8 年度から有料駐車場の指定管理を追加とあるが、その詳細は。 ○ 結ステーションエリア施設の令和 6 年度の指定管理料の収支及び令和 7 年度以降の指定管理料の算出方法は。 ○ 九頭竜保養の里指定管理経営収支において、1,000 万円を超える赤字が発生しているが、設定された指定管理料は適正なのか。

令和7年6月 第444回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問 (第2日) ／10日 (火)	高岡 (もえぎ会)	一括質問・ 答弁方式	1 市長の政治姿勢について ○ 行財政改革の進捗(しんちょく)は。 ○ 市長が考える農業政策はどうか。 ○ 国道158号不通における観光及び商店街振興はどうか。 ○ 第三セクターの今後について。

令和 7 年 6 月 第 4 4 4 回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問 (第 2 日) / 10 日 (火)	山崎 (清風会)	一括質問・答弁方式	1 修繕費(工事費を含む)について ○ 大野市公共施設等総合管理計画（大野市公共施設再編計画編）における、レクリエーション施設（選択的市場的施設）、文教施設（準必需的公共的施設）、スポーツ施設（選択的市場的施設）の令和 5 年度・6 年度の修繕費はどれぐらいなのか伺う。 ○ 修繕費を抑制するための全庁的な方針と各所管課の取り組み及び改善策等を伺う。

令和7年6月 第444回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／10日(火)	帰山(大野市民の会)	一括質問・答弁方式	1 旧蕨生小学校並びに旧荒島保育園の跡地活用について ○ 旧蕨生小学校グラウンドにホテルが建設されると聞いているが、その進捗(しんちょく)状況は。 ○ 旧蕨生小学校並びに旧荒島保育園は現在どのように管理されているのか。 ○ 両施設の今後の活用方法はどのように考えているのか。
			2 健全な水循環について ○ 平成27年12月定例市議会において「大野市健全な水循環のまち宣言」が決議されたが、今後もこの宣言に沿った取り組みをどのように行っていくのか。 ○ 大野市では地下水を飲料水に利用していることから、毎年41カ所で水質検査を行っている。また、地下水保全のために公共下水道事業が順次進められているが、地下水の水質などに変化は見られたのか。 ○ 地下水の学習研究施設である「越前おおの水のがっこう」の、おおの天空パークOSORA(大野市屋内型こどもの遊び場)がオープンされて以降の利用状況はどのようになったのか。また、今まで以上に活用するための方針はあるのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／10日（火）	木戸屋（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	1 小・中学校での読書教育について 令和5年3月に国において策定された「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」には、「子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要である」と書かれている。 また、学校図書館法第1条には、「学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ…」と学校図書館の重要性が記載されている。 本法律の第5条には、「司書教諭を置かなければならない」と記され、平成26年6月の法改正により「学校司書」に係る規定が第6条として追加された。同条には、「司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（「学校司書」）を置くよう努めなければならない」となっている。 昨今、デジタル書籍の普及は目覚ましいが、紙書籍のみならずデジタル書籍を含めての読書の推進は、児童・生徒の成長に欠かすことのできない教育分野であると考えます。 そこで、次の点について質問をする。 ○ 本市では、小・中学校の読書教育について、どのような点に力を入れているのか。 ○ 学校の読書活動では、大野市図書館や図書ボランティアとどのように連携し活用しているのか。 ○ 各学校図書館の管理運営については誰が担っているのか。学校司書の配置についてはどのように考えているのか。
			2 結ステーションエリアの公共施設の運営について 屋内型こどもの遊び場「おおの天空パークOSORA」が開館してから4カ月余りが過ぎた。先日の市長の提案理由では、5月末までの入場者数は、子ども約16,000人、大人約12,700人の合計約28,700人となっているとの説明があった。また、毎月のイベントを開催しているとのことである。 また、4月1日からは結ステーションの駐車場有料化の試験運用が始まり、市民からは今のシステムについて賛否両論の意見が届いている。令和7年度は有料駐車場に関して試験運用を行っているが、令和8年度の本格運用に向けて、さまざまな改良すべき点があると考えます。 そこで、次の点について質問をする。 ○ 「おおの天空パークOSORA」の5月末までの入場者数が約28,700人であるとのことだが、その詳細データはどうか。（市内外、年齢層、天候との関連、平日と休日など）

令和7年6月 第444回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問 (第2日) ／10日 (火)	木戸屋(もえぎ会)	一括質問・答弁方式	○ 「おおの天空パークOSORA」が開館してからこれまでの間、当初の目標に対して現状をどう評価をしているのか。 また、まちなかの活性化に対してどのような効果をもたらしていると考えているのか。 ○ 令和7年度に行っている結ステーション駐車場の試験運用は、具体的にどのような観点で試験しているのか。 ○ 有料駐車場の運用について、商店街等との連携はいつどのように行っていくのか。 ○ 結ステーションエリア駐車場は、利便性においても経営面においても効率的な運用が求められるところであるが、今後の運営はどのように行っていくのか。